

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)カインズ相模原当麻店	階数	地上2F
建設地	相模原市南区当麻字中島1876-1 外55筆	構造	S造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	10,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,000 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年6月 予定	評価の実施日	2016年12月1日
敷地面積	14,296 m ²	作成者	株式会社伊藤建築設計事務所
建築面積	8,652 m ²	確認日	2016年12月1日
延床面積	10,083 m ²	確認者	株式会社伊藤建築設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	230
②建築物の取組み	42%
③上記+②以外の	42%
④上記+	42%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

音環境	2.6
温熱環境	2.6
光・視環境	4.0
空気質環境	2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

機能性	3.9
耐用性・信頼性	2.8
対応性・更新性	3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	2.5

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

建物外皮の熱負荷	3.1
自然エネルギー	4.0
設備システム効率化	5.0
効率的運用	2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源	3.4
非再生材料の使用削減	2.4
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化への配慮	5.0
地域環境への配慮	3.1
周辺環境への配慮	2.1

3 設計上の配慮事項		
総合	階高を高く設定し、構造は鉄骨ラーメン構造を採用することにより、将来の変更に対応しやすい計画とした。	その他 特になし
Q1 室内環境	照明はすべてLEDとし、照明からの熱負荷の軽減を目指している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に歩道状空気を計画し周辺の歩行者環境に貢献している。
LR1 エネルギー	照明はすべてLEDとし、照明負荷を軽減している。空調機は高効率の機器を使用している。	LR3 敷地外環境 特になし
Q2 サービス性能	特になし	
LR2 資源・マテリアル	鉄骨造を採用することで、将来の外壁更新などを行いやすくしている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される